

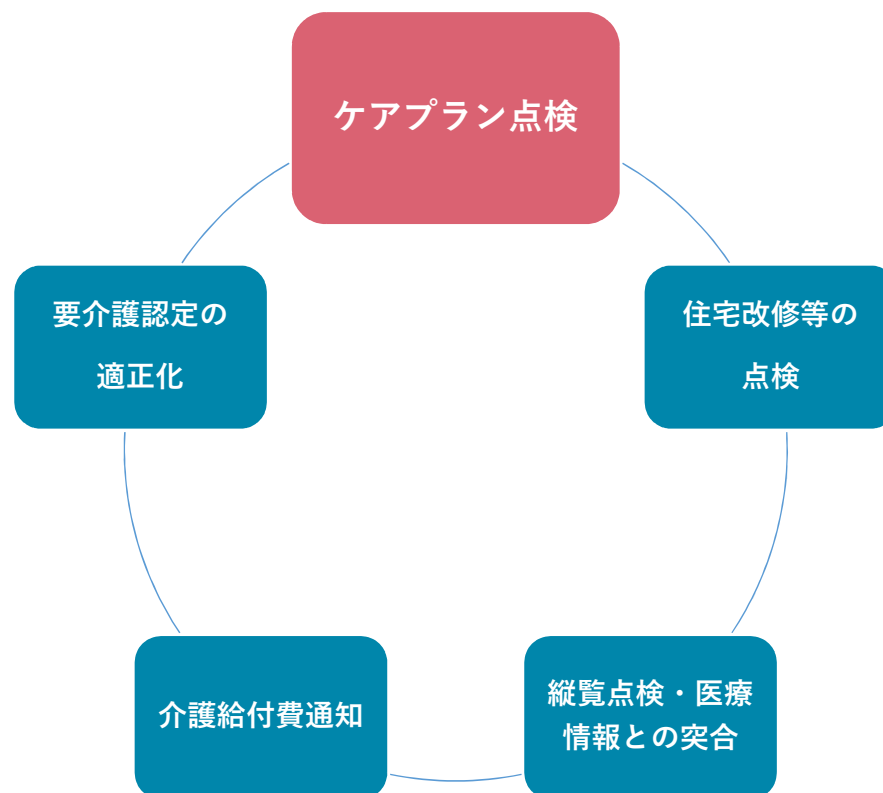
令和3年度

札幌市ケアプラン点検結果報告

札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課

ケアプラン点検とは

- 保険者が行う介護給付の適正化事業として、「ケアプラン点検」が位置づけられています。
- 「ケアプラン点検」は主要5事業の一つです。



■ ケアプラン点検の目的

- 作成されたケアプランがケアマネジメントのプロセスを踏まえた「**自立支援**」に資する適切なケアプランとなっているかを検証確認することで、介護支援専門員の「**気づき**」を促し、介護支援専門員の資質向上を図る。
- ケアプランの質の向上、利用者の状態の維持改善を図り、介護給付の適正化を推進する。

ケアプラン点検の流れ

STEP 1

- 介護保険課から事業所にケアプランの提出を依頼

STEP 2

- 介護保険課と点検者（委託）による書類の事前点検

STEP 3

- 市役所本庁舎にて事業所と点検者によるオンライン面談

STEP 4

- 介護保険課から事業所にケアプラン点検実施結果通知書を送付

点検対象者と点検実績

点検対象者

■ 福祉用具貸与利用者のプラン

福祉用具貸与利用者のうち、以下の対象者を重点的に点検

- 「車いす」または「特殊寝台」を利用している軽度者(要介護1)
- 「車いす」を複数貸与している利用者(要介護1～5)
- 住宅型有料老人ホーム入居者またはサービス付き高齢者住宅入居者

点検実績

■ 点検数：40件

■ 点検事業所数：16件（各事業所2～3件）

提出書類

- チェックシート(自己点検シート)
- 利用者基本情報・課題分析に関する項目
- 課題分析表
- 居宅サービス計画書(第1表～第2表)
- 週間サービス計画書(第3表)
- サービス担当者会議の要点(照会の記録も含む)(第4表)
- 訪問系・通所系サービス、福祉用具貸与サービスを利用している場合は、それぞれのサービス計画書またはサービス内容の算定根拠の情報等、詳細が分かる書類
- 居宅介護支援経過(第5表)
- 評価表(モニタリング)
- サービス利用票(第6表)と利用票別表(第7表)

点検結果(1)

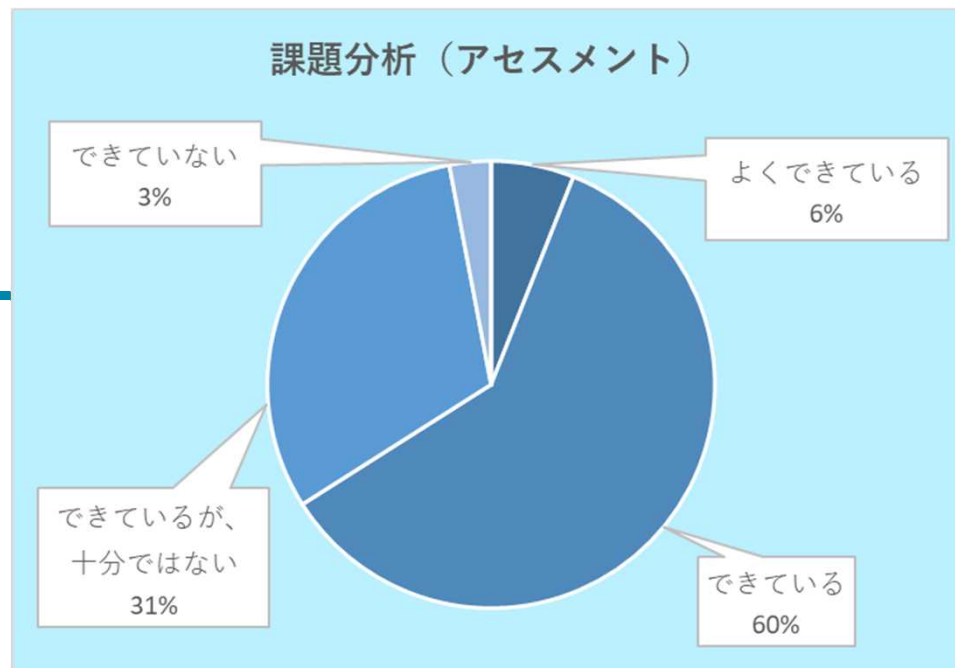
課題分析(アセスメント)

点検項目：9項目

9項目の平均で66%が「よくできている」「できている」と評価。
34%が「できているが、十分ではない」「できていない」と評価。

点検者からのコメント

- 課題分析（アセスメント）はケアマネジメントプロセスをスタートするための重要な取り組みだが、**情報収集した内容のみの記載にとどまる**事例が多くあった。それらの事例では介護支援専門員がどのように判断し、どのような支援をするべきと考えたのかが記載されていないため、居宅サービス計画書がどこから導き出されたのか判然としない。**計画書の妥当性を示す根拠をアセスメントに示すことが重要。**
- 自立支援の観点から、**本人のできる事や興味がある事等の強みに着目**し、セルフケアとしてケアプランに盛り込めると良い。



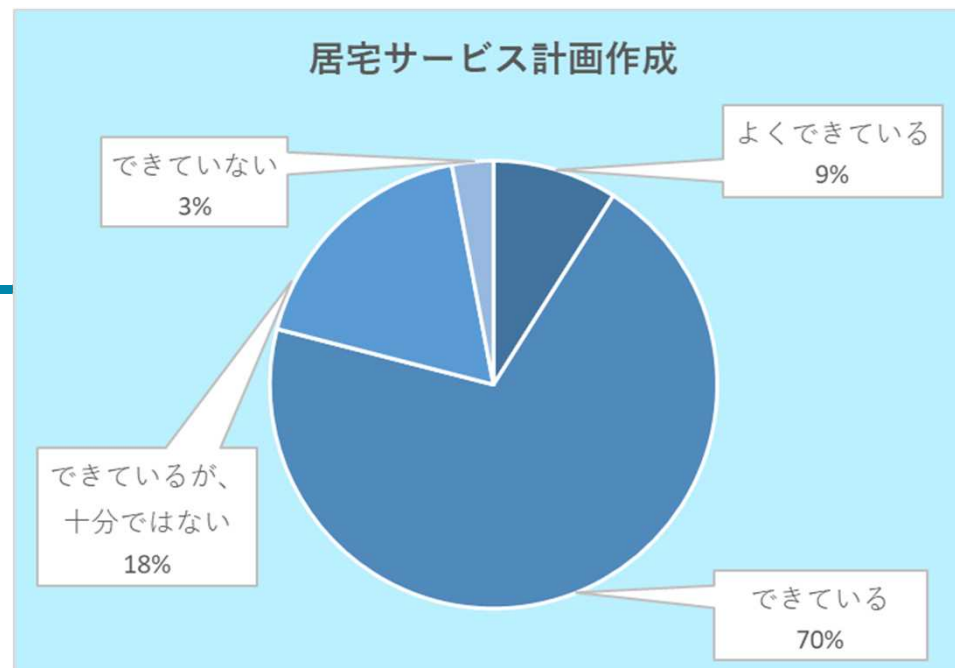
▲点検項目ごとに「よくできている」「できている」「できているが、十分ではない」「できていない」で評価した。次ページ以降も同様。

点検結果(2)

居宅サービス計画作成

点検項目：23項目

23項目の平均で79%が「よくできている」「できている」と評価。
21%が「できているが、十分ではない」「できていない」と評価。



点検者からのコメント

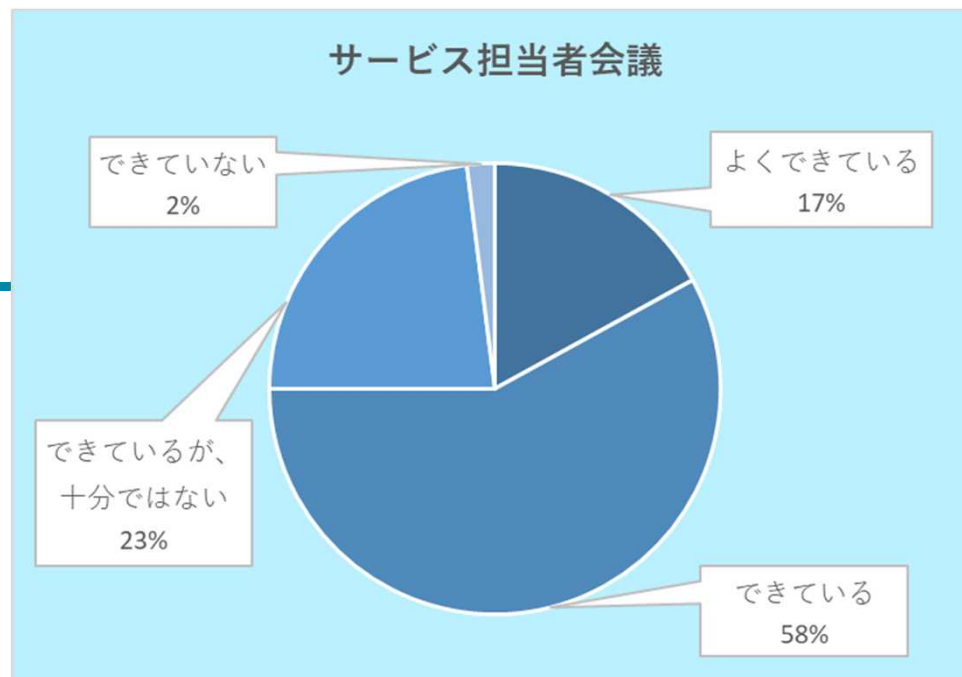
- 第1表では「総合的な援助方針」がサービスの説明にとどまり、**ケアチームの方針が表明されていない**事例が多くあった。
- 本人、家族の生活に対する意向について、本人の困りごとだけを記載している事例があった。ケアプランは、困りごとを解決し、より良い生活を過ごすために作成されるものなので、**本人や家族がサービスを利用してどのような生活を過ごしたいのか、前向きな意向を把握し、そこにケアマネジャーの専門的判断も踏まえ記載**できると良い。
- 第2表では「**目標**」がサービス側の目線で設定され利用者自身が何をするのかの記載が**不十分な事例**や、**福祉用具貸与について「必要とする理由」が明示されていない**事例が多くあった。

点検結果(3)

サービス担当者会議

点検項目：10項目

10項目の平均で75%が「よくできている」「できている」と評価。
25%が「できているが、十分ではない」「できていない」と評価。



点検者からのコメント

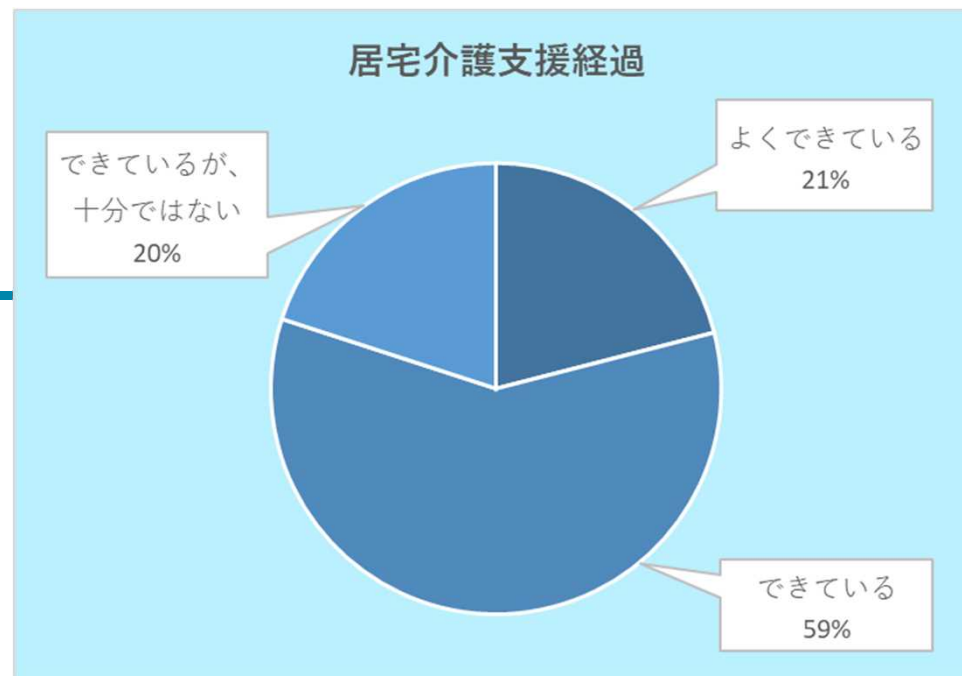
- 福祉用具貸与を計画する場合はその必要性や妥当性をサービス担当者会議で確認する必要があるが、**会議録に福祉用具貸与の必要性の記載がされていない事例が多くあった。**
- **医療系サービスを計画していながら主治医の判断が会議の中で共有されていない（具体的に記載されていない）事例が多くあった。**
- 「結論」について、**関係者の役割分担や今後の方向性が記載されていない事例があった。**

点検結果(4)

居宅介護支援経過

点検項目：3項目

3項目の平均で80%が「よくできている」「できている」と評価。
20%が「できているが、十分ではない」と評価。



点検者からのコメント

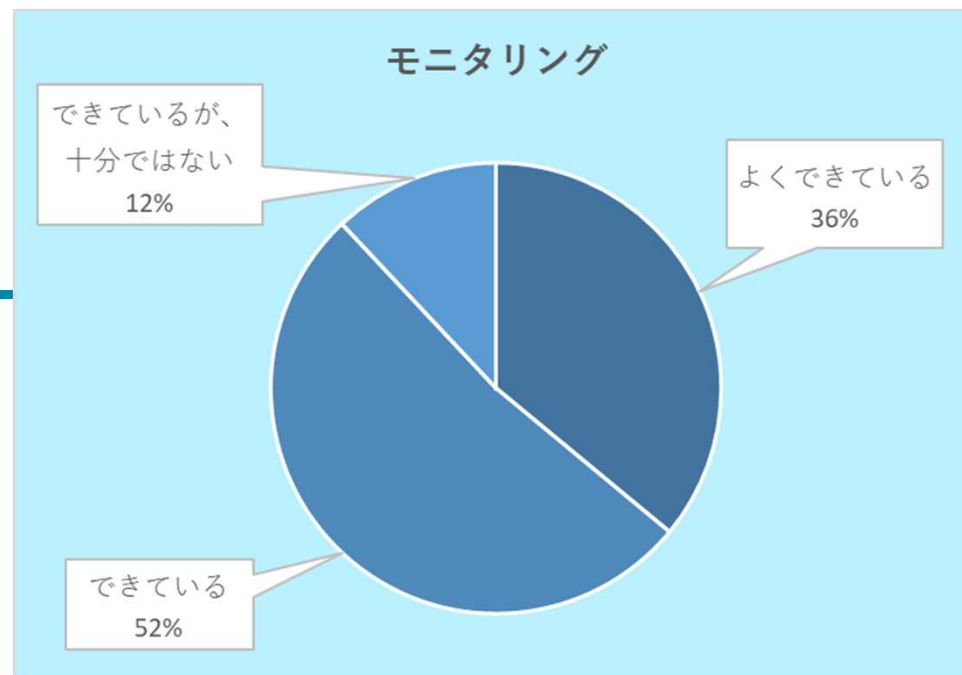
- 介護支援専門員が何を意図して書いたのか最後まで読まないで判然としないものがほとんどだった。**タイトルをつける、箇条書きにする、項目形式で書くなど記述方法を工夫する**必要がある。
- 介護支援専門員が**どのように判断（アセスメント）したのか、利用者にもどのように働きかけたのか（介入）、解決のためにどのような方針を持ったのか（プラン）**の記載が**不十分な事例**が多くあった。

点検結果(5)

モニタリング

点検項目：2項目

2項目の平均で88%が「よくできている」「できている」と評価。
12%が「できているが、十分ではない」と評価。



点検者からのコメント

- 訪問して翌月の利用票を渡すことがモニタリングの目的だと誤解しているのではないかと感じられる事例があった。
- モニタリング記録が前月の記載内容と大差なく、計画の実施状況や目標達成の度合いなどが抽象的にしか書かれていない事例が多くあった。